

郡上市の方針と重点 凌霜の心で拓く明日の郡上市 ～自立、共生、創拓の教育～

- 【自立】◇目標の実現に向けて、見通しをもち、ひたむきに努力し、困難を乗り越えることができる。
- 【共生】◇「命」と「人」を尊重する考え方や行動ができる。 ◇感謝と奉仕の心で、人の役に立つ行動ができる。
- 【創拓】◇夢に向かってよりよい生活をつくりだすことができる。 ◇郡上に誇りをもち、よりよい郡上をつくりだすことができる。

めざす学校像

- ・児童にとって誇りに思える学校
- ・保護者・地域から信頼される学校
- ・教職員にとって働きがいのある学校

めざす児童像

- ◎夢や願い、目的をもち、実現に向けてひたむきに努力する児童
- ◎思いや考えを豊かに表現できる児童
- ◎思いやりをもって仲間と共に行動できる児童
- ◎当たり前のことが当たり前に行える児童
- ◎ふるさとや伝統を大切にす児童

めざす職員像

- ・過程を大切にし意味や値打ちが語れる職員
- ・授業が命と言いつける教師
- ・保護者や地域から信頼される職員

児童の実態

- ・素直で純朴であるが、固定的な仲間関係の中で、一方的な見方やなれ合いが見られる。
- ・各種行事や活動に誠実に取り組むが、やや主体性に欠ける。
- ・学習習慣や学習姿勢が向上し、基礎的、基本的な知識、技能は定着してきているが、筋道を立てて思考することや自分の考えや判断したことを説明したり記述したりすることに弱さがある。

地域の実態

- ・古くからの歴史があり文化にも恵まれている。
- ・地域の伝統的な祭礼をはじめ公民館活動等地域行事がさかんであり、子どもたちも意欲的に参加している。
- ・地域の人々は学校の教育活動に対し、協力的で奉仕的である。

学校の教育目標

ふるさとに誇りをもち、未来をひらく子

つくりだす (創造性)

進んで学ぶ (自主性)

手を取りあう (社会性)

「心と心をつなぐ」(心と心がつながる、温かさのあふれる学校)

心(あ)と心(う)を(え)つ(お)なぐ

「あ」明るいあいさつ 「い」一生懸命な声 「う」美しい学校 「え」笑顔でなかよし 「お」思いやりの心

	温かい仲間づくり	確かな学力の育成	心身の健康の保持増進	郡上学の推進
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい人間関係の構築と気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣いの向上 ・温かい学級風土の醸成と問題解決のスキルの向上 ・いじめを許さない人権教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学びに向かう力の育成、<u>主体的・協働的に学ぶ姿勢の向上</u> ・論理的思考力(含 プログラム的思考)の育成 ・話す力、表現力の育成及び、仲間と学び合う力の育成 ・基礎的基本的な知識、技能の確実な定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命は自分で守り、心も体も健康で過ごすという意識や実践力の向上 ・自他を大切にする心、命を大切にする心の育成 ・学校内外の安全、安心な暮らしの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・北濃の自然や生活、伝統や文化を知り、伝統を引き継ぐ ・地域に誇りをもち、地域を愛する心の育成 ・地域連携及び開かれた学校づくりの推進
重点と方途	<ul style="list-style-type: none"> ◇人権教育の一層の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○他を思いやる心の醸成、態度化を図る。 ○道徳科の授業を充実させる。(考え、議論する道徳) ◇自己存在感や自己有用感を高める指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○意図的な学級経営、委員会活動の充実、生活目標の意識化を進める。 ○行事や縦割り集団の活動の値や意義、取り組みへの願いや想いを大切にする。 ○具体的な目標を設定し、目的意識をもたせる。 ○子どもに寄り添い、褒める指導を通して良さや可能性を引き出し伸ばすと共に、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「できた」「わかった」「おもしろい」が実感できる授業 <ul style="list-style-type: none"> ○ねらいの明確化、課題意識、授業の出口での姿の明確化、3つの見届けの確実な実施を進める。 ・<u>学習意欲を高める工夫</u> ○少人数だからこそできる個別の指導を充実する。 ○教え合い、学び合い、関わり合い、活動のある学習を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもって表現する、対話を通して学び合う場や機会の設定 ○プログラミング教育、授業でのコンピュータの活用を推進する。 ◇チャレンジタイム・家庭学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○年間の計画・内容の見直し ○授業とのかかわりをもたせた取り組みを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇安全への対応力を高める指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○命を守る訓練の充実を図る。 ○安全な登下校指導の徹底を図る。・分団会、下校指導 ○安全な生活を考える指導を充実させる。 ○職員だれもが動ける危機対応の体制を充実させる。 ◇健康への意識を高める指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○歯磨きを励行する。 ○運動に親しむ指導を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・遊び、縦割りG活動 ◇子どもの変化を見逃さない取り組みの充実 <ul style="list-style-type: none"> ○子どもとともに過ごす。 ○教育相談を充実させる。 ○週1回の職員打ち合わせでの交流を有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域のよさを知り、伝えるための、探求的な活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地域探検、見学、訪問、体験の充実を図る。(調査-考察-まとめ-発信) ◇子どもの主体性やよさを発揮し、仲間と協働する良さが体感できる体験活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○雅楽、白鳥踊り、スキー、生き物調査、栽培活動、交流活動への取り組みを充実させる。 ○地域行事への参加を勧める。 ◇地域の方の生き方から学び、自らの生き方に生かす指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○学習・行事への人材の活用を進める。(地域の先生、〇〇名人)
<ul style="list-style-type: none"> ◇幼保・小・中・(高)の連携・交流の推進(白鳥プラン、交流会、合同学習、TV授業、授業・保育参観) ◇PTA、地域との連携・協力 ◇地域の教育力の活用 				

- ◇明るさと温かさのある職員集団
- ◇互いに支え合い、切磋琢磨する職員集団
- ◇互いの実践を認め、たゆまぬ努力を継続する職員集団
- ◇不祥事の根絶
- ◇勤務の適正化(早く帰る日の設定、・「10分早く帰ろう」運動の実施、業務・分掌・行事の見直し 等)

評価⇒改善

○職員評価(中間・年間) ○児童評価(中間・年間) ○保護者評価(中間・年間) ○「郡上市の教育」実践の重点の達成度(中間・年度末)
 ⇒ 学校経営の改善<学校評価委員会(8月、1月)、教務会・指導部会・職員会、学校関係者評価委員会(2月)>